

「鎌倉から学ぶ彦根のまちづくり」

山崎一眞さん

鎌倉と彦根のまちづくりの比較



滋賀大学教授として、また彦根景観フォーラム理事長として彦根の景観まちづくりに大きな貢献をされた山崎一眞さんは、滋賀大学退職後、鎌倉の自宅を中心に鎌

倉・湘南景観フォーラムを立ち上げて活動しております。

鎌倉・湘南景観フォーラムについては、「きらっと彦根40号」で紹介していますので、鎌倉と彦根の比較からみたまちづくりの課題を紹介します。

鎌倉は、中世初期に幕府がおかれた首都でしたが、その後農漁村となり、近代には政財界人の別荘地、保養地になりました。しかし、関東大震災で壊滅的打撃を受け、戦後は文化人、知識人主導の文化住宅都市へと変貌、現在は、歴史・観光都市となるなど、都市は不連続で、時代ごとに大きく変貌しています。

これに対して彦根は、近世初頭に彦根城下町が形成されて以後、都市が連綿と続いており、近世、近代、現代の遺産や記念物がまちに併存する大変貴重なまちといえます。

市民・行政・大学の一元的な連携を

一方、鎌倉では、市民が自発的にまちの課題を解決しようと組織をつくり、資金を集め、行政を引

張ってきました。

昭和39年、鶴岡八幡宮の裏山「御谷（おやつ）」の大規模住宅開発を市民運動で断念

させ、古都保存法制定の契機となったことを始めとして、建築や屋外広告物のデザイン誘導によるまちなみ保全や洋館の保全、交通社会実験や都市林整備などに自発的に取り組む市民活動団体が多くあり、たくさんの方が参加しています。

これに対して彦根は、市民が自ら課題に取り組まず、行政に解決を依存する傾向があり、行政も閉鎖的で市民・事業者・行政の協働は難しいとされてきました。確かにそのような側面が強いのですが、現代の複雑な課題には、市民と事業者と行政、内部と外部との協働が不可欠です。そのためには、行政も市民も、一緒に円卓を囲んで課題を学習し認識をそろえる必要があります。

幸い、彦根には鎌倉にない資源として3つも大学があり、世界に開いた知識情報をもつ大学と若い学生・留学生の力があります。市民、行政と大学が、同じテーブルで、それぞれの思いを述べ、事例を学習し、うまく調整して優れた歴史遺産を生かしたまちづくりを一緒に進めれば、彦根らしい景観まちづくりができるだろうと述べられました。



NPO法人・彦根景観フォーラムのご案内

彦根景観フォーラムは、まちの景観づくりを楽しむNPOです。大学教員、建築家、市民、商店主、公務員などが集まり、知恵と力を合わせて活動しています。様々な情報を事務局までお寄せ下さい。

- **ブログ** <http://hikone-keikan.seesaa.net/>
- **定例会** 毎月第3金曜日 午後7時～9時 滋賀大学陵水会館 誰でも自由に参加できます。
- **お問合せ**：彦根景観フォーラム事務局 TEL 080-1416-5968 FAX 0749-27-1431
E-mail: hikonekeikan@hotmail.com まで



きらっと彦根 vol.42

彦根の魅力 ★ 再発見

彦根まちづくり誌 2016年1月15日 通巻42号 編集/発行 NPO法人 彦根景観フォーラム

芹橋足軽屋敷に銘板を表示

芹橋二丁目には約30軒の足軽屋敷が現存しますが、うち20軒に「善利組・足軽組屋敷」の銘板が取り付けられました。



旧彦根藩で最大の規模であった善利組足軽屋敷は、現在の芹橋一丁目、二丁目のほぼ全域を占めていましたが、江戸時代末期から150年近くた

ち、現存するものは30棟あまりといわれています。その多くが老朽化しており、全国でも珍しい現地に現存する足軽屋敷群は存亡の危機にあります。



これらの足軽屋敷を地域の宝として再評価し、多くの人に存在を知ってもらいたいと、彦根辻番所の会と芹橋地区の方々が集まり、一辺187mmの正方形の檜の板に柿渋を塗り、炭で熱した焼印を押し付けて印字し、荏胡麻油を

塗布したうえで、了解をいただいた20件の屋敷に取り付けられました。



1月24日(日)は10:30から辻番所足軽屋敷で、**足軽辻番所サロン「芹橋生活」62「大河ドラマの直弼」**講師：阿部安成さん(滋賀大学教授)が開催されます。

この機会にぜひ足軽組屋敷群をお訪ねください。

お正月は、カロムとお餅！

最新カロム情報と彦根カロムのルーツ

1月9日(土)10:30より一圓屋敷で開かれた「多賀「里の駅」野菜市&集い」では、彦根のカロムハンター 杉原正樹さんが登場しました。

カロムは彦根のお正月には欠かせないボードゲームですが、これだけ普及しているのは彦根だけ。しかし、近年C1グランプリが開かれるなど再び復興してきています。



『カロムロード』の編著者で、カロム盤の収集家の杉原さんは、日本各地を調査し、世界のカロム情報を集め、彦根版カロムの独特の形や色のルーツがカナダにあることをほぼ突き止めました。しかし、彦根に天保元年のカロム盤が出現、出所は中国か？ 2016年が正念場になりそうです。

農家レストランのランチは、3種類のお餅の食べくらべ。磯辺焼きが、とってもおいしかった。



ひこねまちづくりシンポジウム

彦根青年会議所主催で、2月6日(土)13:00~16:00、ビバシティ彦根2Fビバシティホールで開催されます。「もりたく流まちづくり~新たなまちづくりとは~」森永卓郎氏(獨協大学教授)、の講演の後、パネルディスカッション「まちづくりのヒント~ひこね創生~」に、当NPOの堀部副理事長がパネリストとして登壇します。

特集 **彦根景観シンポジウム2015**

鎌倉に学ぶ、古い佇まいを活かした新しいまちづくり

梅沢典雄さん(ひと・まち・鎌倉ネットワーク理事)
山崎一真さん(鎌倉・湘南景観フォーラム代表理事)